

有明莊特別會計

令和4年度 有明荘特別会計の概要

観光宿泊施設（安曇野市有明荘）について、指定管理制度による民間事業者のノウハウを生かした運営を行うことで、業務のスリム化、経営の効率化及びサービスの向上を図ることにより、交流人口の拡大及び市民福祉の向上を図りました。

令和4年度は例年どおり4月23日に営業を開始し、新型コロナウイルス感染症対策を施しながら、入浴者と宿泊者の受け入れを行い誘客に努めました。

コロナ禍の影響で指定管理者の利用料金収入は令和2年度以降減少しており、また、令和4年度は光熱費高騰の影響で管理経費も増加しているため、基本協定に定める3,620千円の納付金は、指定管理者と協議のうえ令和3年度と同様に全額減免しました。

令和5年度	
部	商工観光スポーツ部
課	観光課
係等	観光施設担当

決算書 ページ	388
------------	-----

予算	款	01	施設事業費	総合計画	基本目標	魅力ある産業を維持・創造するまち
	項	01	施設事業費		基本方針	商工観光業を振興するまち
	目	01	施設事業費		基本施策	観光の振興
	事業	7100001	有明荘施設管理費			

単位：円

予算現額 ①	決算額(支出済額) ②	翌年度繰越額 ③	不用額 ①-②-③	執行率 ②/①	
9,671,000	9,665,318	0	5,682	99.9%	
特定財源の決算額	左記の内訳	細節名	金額	細節名	金額
9,664,000		一般会計繰入金	9,664,000		

主要な施策（事務事業）の成果の概要

安曇野市有明荘について、指定管理者制度を活用し、民間事業者の視点による業務のスリム化及び効率化を図りサービスの向上に努めました。

令和4年度は例年どおり4月23日に営業を開始し、コロナウイルス感染症対策を施しながら、入浴者と宿泊者の受け入れを行い誘客に努めました。

令和3年度と比較すると利用者は増加しているものの、コロナ前（宿泊4,024人、入浴10,562人）の状況までには回復することなく、11月20日に令和4年度（210日間）の営業を終了しました。

コロナ禍の影響で指定管理者の利用料金収入は令和2年度以降減少しており、また、令和4年度は光熱費高騰の影響で管理経費も増加しているため、基本協定に定める3,620千円の納付金は、指定管理者と協議のうえ令和3年度と同様に全額減免しました。

○有明荘の概要

指定管理者	株式会社燕山荘		
指定期間	平成28年4月1日 から 令和7年3月31日 まで		
指定管理料	なし	市への納付金	0円 (3,620,000円 全額減免)
利用者数	宿泊者数 3,164人（前年度比 +924人） 入浴者数 6,676人（前年度比 +1,006人）		
主な修繕	温泉配管修繕 308,000円	厨房ダクト配管修繕 200,200円	
	厨房排気送風機修繕 636,240円	ほか修繕 196,900円	
主な工事	トイレ改修工事 2,343,000円	厨房天井修繕工事 1,298,671円	
	LED化工事 1,298,000円		

上記の評価と課題等

指定管理者による、民間の経営ノウハウを活用した施設運営を行うことで、業務のスリム化及びサービスの向上を図り宿泊者の9割以上を占める登山客から高い評価を得ています。

しかし、施設の老朽化による修繕費の増加、設備等が他の民間施設に比べて古いなどの評価も見受けられることから、運営を続けるためには、大規模な改修が必要と考えられます。また、行政と指定管理者の二重の管理は、制約等も多く柔軟性に欠けることから、民間譲渡を含め施設の在り方を検討していきます。